

## 関中央ロータリークラブ

国際ロータリー第2630地区 東海北陸道グループ



2024～2025 年度 関中央ロータリークラブ 会長テーマ

「奉仕の実践を通じ、求められ、

必要とされるロータリアンに」

例会日：毎週木曜日 18時30分

例会場：関観光ホテル 岐阜県関市池尻 91-2

会長：大藪 太

副会長：土屋 敏幸

幹事：後藤 政之

会報：北原 慎

事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1-D

TEL (0575)24-7332 FAX(0575)23-5278

前例会の記録 第2154回

2024年 9月 26日(木)

場所 例会場(関観光ホテル)

担当 米山記念奨学委員会

本日のプログラム 第2155回例会 2024年10月13日(日)

『 稲刈り体験事業 』

場所：関市小迫間(小川精器製作所前)

担当：社会奉仕委員会

\*ロータリーソング「我等の生業」斉唱

\*お客様の紹介

・米山記念奨学生 ド・ナン・フン 様

・RI第2630地区

米山記念奨学委員 小川 定彦 様 (美濃 RC)

\*会長あいさつ 大藪 太 会長

皆さんこんばんは。本日のお客様をご紹介致します。米山記念奨学生 ド・ナン・フン様です。後ほど卓話をお願い致します。今回の3連休、石川県能登



地方では豪雨に見舞われました。20日(金)の深夜から雨が降り出し、21日(土)の8時頃から急激に雨が勢いを増しました。輪島市では3時間雨量が222mmを記録し、9月1ヶ月の平均雨量を上回りました。元旦に起きた能登半島沖地震の復旧工事も充分に進んでいない中で、豪雨災害、工事途中のトンネル付近での土砂崩れなどで、多くの死者、行方不明者が出ています。毎年のことではありますが、豪雨災害のニュースを見ると思い出すのが、平成30年の津保谷地区の災害です。平成30年7月8日深夜、私の住む上之保地区でも雨が降り続

いていました。午前零時頃、かなり増水はしていましたが、数年に一度は来る増水程度のことだろうと思っていました。午前2時頃緊急サイレンが鳴り、自宅の外側は川のような状態になっており、生まれて初めて見る光景でした。見る見る水位が上がってきて、あと10cm位で玄関に水が入ってくるという程まで増水しました。土嚢の準備などしていませんでしたので、毛布を持ってきて玄関戸の前に敷きました。結果的にそこが最高水位で、その後徐々に水が引いていきました。午前4時頃、少し明るくなってきましたので、外に出てみたら見たことのない光景が広がっていました。自宅に隣接する製材工場や事務所、作業小屋、資材置き場などすべてが約1m冠水した後で、横積みしてあった木材は一度浮き上がり少し流され、バラバラの状態になっており、立てかけてあった材料はほとんど倒れていました。機械類はモーターが水に浸かって作動せず、事務所の書類関係も流されはしなかったものの、水浸しでくしゃくしゃでした。せめてもの救いは自宅が浸水しなかったことですが、私の家は廻りの地盤から1m程盛り土がしてあったので助かりましたが、隣の家などは床上まで浸水しました。最も被害の大きかったのは1kmほど上流の地域で、道が川のような流れになり川沿いの家々は床上1m80cmまで浸水し、住人の方は避難場所に移動したり、2階へ避難したり、平屋の家に住んでいた人などは天井裏に顔を出して息をしていた人もいたほどです。水が引いたら早速始めなければいけないのが片付け作業ですが、ボランティアの皆さんの力が大きな助けになりました。今でこそボランティアの受入がマニュアル化しているような自治体も多いようですが、当時の上之保はそんな体制もなく、行政が受入窓口になるのか、社会福祉協議会が窓口になるのかなど混乱することもあったようです。延べ7,000人ほどのボランティアの皆さんが上之保に来ていただき、私の会社だけでも延べ100人ほどの方に手伝っていただきました。浸水した住宅の床下の泥を撤去する作業などは、大人では入っていくことが出来ず、愛知県から来た中学生のボランティアが一生懸命作業してくれました。私の会社でも、通常の仕事が出来るまでに約1ヶ月かかりました。散乱した材料の整理はもちろんですが、水に浸かった機械は業者に依頼して、モーターを分解して乾燥させ再び組立、水浸しになった書

類は天日干して、しわを伸ばし使えるものだけ綴じました。そして大変だったのが泥の処分、工場の敷地全体に約10cmの泥が堆積していました。大型の重機で泥をかき集めてもらい、私が借りてきたダンプカーで残土集積場まで運ぶ作業を繰り返しました。しかし狭いところは手作業でしか出来ず、ボランティアの皆さん、協力業者の皆さん、親戚の方々の献身的な協力により何とか出来ました。ただしその年も猛暑で、作業中に熱中症になった人もいる程でした。助けていただいた方々には感謝の言葉しかありません。先週も防災の話をしたばかりですが、今回の能登半島の豪雨災害を見て、改めて自然災害の怖さ、助け合いの大切さ、ありがたさを痛感しましたので今日の挨拶で話をさせていただきました。

#### \*8月度 IGM の報告

高井 良祐 会員

8月22日木曜日に関観光ホテルで18時30分より開催されました。出席者はカウンセラー 土屋 敏幸さん、ロータリー情報委員 山田 文夫さん、世話係 山本義樹さん、レポーターは私、高井、そして出席義務者から川上 勉さんです。世話係の山本さんより出席者の紹介があり、出席義務者の3名欠席で5名での開催と報告されました。最初に土屋 敏幸 カウンセラーから本日のテーマについてお話がありました。毎度の事ですが会員増強について提案されました。続いてロータリー情報委員 山田 文夫さんから、飲みながら進めようと提案され、早速の乾杯で始まりました。IGM は以前、FM と言ってファイヤーミーティング、井戸端会議だったそうです。会員増強について、新入会員が3年未満での退会者が多いという話を耳にするが原因はどこにあるのかという意見があり、地区公共イメージ委員の土屋カウンセラーに、他クラブの状況もふまえてお話いただきました。若者の会員が増えているクラブは年会費が安い、例会が月2回、夜例会で例会食は無し、会場費が安い・・・また、飲み会で親睦を深める努力をし、退会者がみえないそうです。土屋 地区公共イメージ委員は各クラブの会員増強の取り組み方について情報収集をしてみえるので、例会で報告をしていただきたいと思います。多岐にわたり実のある IGM になりました。今回は会長・幹事・副会長・・・経験者ばかりのIGMで新入会員の若者たち



の意見・感想を期待していましたので残念でした。次回は参加して頂き、年寄りクラブに新風を吹き込んでもらいたいと感じました。

- \*卓話 米山記念奨学生  
DO NANG HUNG  
ド・ナン・フン 様
- \*テーマ 故郷ベトナムと架け橋  
担当 米山記念奨学委員会



出身：ベトナム／ハノイ 年齢：25歳  
大学名：岐阜大学大学院 修士課程2年生  
専攻：知能理工学専攻 知能機械領域  
世話クラブ：本巣ロータリークラブ

2017年9月からベトナムのハノイ工科大学で、日本語と機械工学を勉強しました。2022年8月にハノイ工科大学を卒業後、2023年4月から岐阜大学 自然科学技術研究科に入学。現在、知能理工学専攻 修士課程2年生です。趣味は旅行したり、料理を作ったり、伝統的な文化について学ぶことです。なぜ、日本を留学先に選んだのか？理由はたくさんあります。子供の頃からドラえもんのようなマンガを読むのが好きでした。ドラえもんのマンガを読んで、野比のび太のような生活をしたと思っていました。高校生になるとき、日本への留学希望がありました。日本の技術で一番印象深いのはロボットです。日本のロボットといえば、ほとんどの人がロボット「アシモ」を知っています。アシモが最初に発表されたときに、歩いて、話せて、高齢者を支援できるというその技術的特徴に魅了されました。日本の先駆的なロボット技術の象徴としてアシモは誕生しました。好奇心が湧き、日本に興味を持ちました。もう一つの理由は日本は安全で福利厚生、福祉サービスが整っているので、日本への留学先を決めました。外国人たちが来日後一番困っているのは言葉の壁です。留学前、ハノイ工科大学で2年間ほど日本語と機械工学を学びました。その時点で、日本語能力 N3相当でした。ベトナムで身につけた日本語は日常会話とは大きく異なっていました。私にとって言葉の壁が一番の難しさだと思っていましたが、それ以上に難しいことは、文化の違いであることに気が付きました。それは、私が日本に来た昨年4月、銀行口座を

開設したい、でも、日本の銀行は9時から15時までの営業であるため、1日授業がある私はなかなか銀行に行くことが出来ませんでした。ベトナムの銀行は8時から17時まで営業しています。これは文化の違いの小さな例ですが、私はそれを煩わしいとは思いません。職場文化における非常に優れた行動であると考えます。私は常に文化の違いを尊重しています。

ベトナムの首都ハノイ、面積 331,699 km<sup>2</sup>、通貨ベトナム・ドン、人口約1億人。ベトナムの平均年齢 33.7歳。北は中国、西はラオスとカンボジアの国境に位置しています。南と東は水産資源豊富な南シナ海があります。セントレア

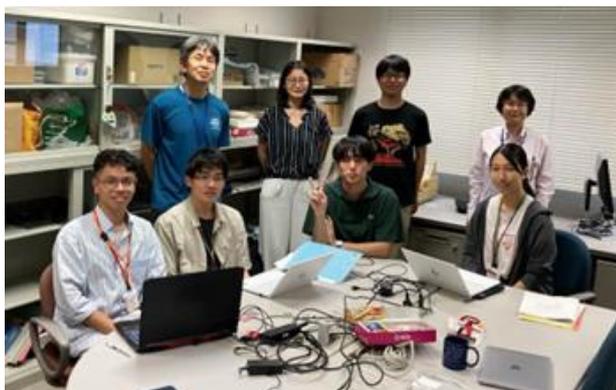


中部国際空港からノイバイ国際空港(ハノイ)までの飛行時間は約5時間。ベトナムは東南アジアにある、S字形の国です。漢字文化圏に位置し、1945年以前は漢字を使用していました。ベトナム料理といえば、フォーとバインミーをイメージする人が多いと思います。それ以外にもおいしい料理がたくさんあります。



大学での研究目的についてお話をさせていただきます。画像認識技術を用いてセーフティーワイヤーの取り付け確認作業の自動化や人件費と人的エラーの削減、システムのパフォーマンスを向上させることです。航空機部品の脱落防止・緩み止めにセーフティーワイヤーが用いられます。現在、この工程は熟練作業者の手作業で行われており、目視検査では長期時間労働による疲労でヒューマンエラーを引き起こす可能性があります。

核融合科学研究所／土岐市  
見学・インターンシップ



生産性の改善のため、自動化を目指しています。そして、高精度を必要とする多くの同様のシステムに適用できます。私は、自動車業界の企業に就職が決まったため、自動車に関する基礎知識を学び習得したいと考えています。日本文化への理解も断続して取り組み続けたいと思います。また、人から信用され、応援される人になれるよう日々努力していきたいです。さらに、日本で学んだ知識を生かして、母国と日本の架け橋となるエンジニアを目指したいです。日本社会に貢献し、言語の難しさに直面している在日のベトナム人を支援できるようこれからも勉強に取り組み、様々な知識・スキルを身に付けることは大切だと考えています。最後になりましたが、ロータリー米山記念奨学金のご支援を重ねてお礼申し上げます。



文化体験活動



\*出席委員会

会員数 30 名、本日の出席17名です。

\*ニコボックス委員会

・会長 副会長 幹事

本日のお客様 ド・ナン・フン様卓話楽しみにしております、よろしくお祈りします

・後藤 政之 幹事

先日、妻の誕生日に虎屋さんのお菓子を頂きありがとうございました

17 名のご投函ありがとうございました。

\*幹事報告

ポリオ撲滅募金の参加者が午前集中しています。

午後に変更できる方、出欠回答を出されてみえない方、午後に御協力お願いいたします。

<次例会の案内>

第 2156 回 10 月 17 日 (木)

C.A 地区大会報告

担当 : 会長・幹事